

郷土にまつわる歴史講座
(協力：明治文庫の会)

身軀 豆より小なりと雖も
肝胆膨大なる事 天に似たり



日柳燕石の生涯と書

講師 四国大学 文学部教授
太田 剛さん



日時 令和4年3月27日(日)
午後1時30分から3時

場所 マルタス 1階多目的ホール

定員 30人 ※先着順でお願いします

料金 無料

問合せ 丸亀市立中央図書館

TEL0877-22-3746

令和4年3月27日(日)

午後1時30分～3時

郷土にまつわる歴史講座

演題 日柳燕石の生涯と書

講師 四国大学 文学部教授

太田 剛さん

日柳燕石は幕末に生まれ、生涯にわたり平和を願って行動した憂国の志士です(1817-1868)。幼くして学問の道に入り、儒学者や国学者、歌人、絵師、また多数の文人・墨客と交わり、知識を深めて行きます。燕石は学問、書、絵画、特に詩文に天才的で高い評価を受けました。本講演では、友人や家族、同志、また国と郷土の行く末を思う燕石の、情熱的で、肝胆膨大の人であり続けた生涯と、その書を紹介します。



吞象楼